

◆島原市民文化講座・地域おこし講演会◆

成長するアジアと九州・島原

～そのチャンスとリスク～

「グローバル化3.0」と呼ばれる変貌する世界の中で、日本と九州、そして私たちのふるさと島原半島はどう生きていくべきか？ 国際ビジネスの最前線で活躍してきた島高同窓生の永池教授が、その道筋をわかりやすく語ります。

- ◆ 講師 : 永池克明 久留米大学商学部・大学院ビジネス研究科教授
(前・九州大学大学院経済学研究院教授)
- ◆ 日時 : 平成20年5月24日(土) 午後1時～午後2時
- ◆ 場所 : 森岳公民館大ホール (島原市城内1丁目)
- ◆ 入場料 : 無料(どなたでも聴講できます)
- ◆ 主催 : 島原市教育委員会、島原文化連盟、
みとな会(島原高校第14回生同窓会)
- ◆ 後援 : 島原高校同窓会

永池教授略歴

1959～62年島原高校在学。山口大学経済学部卒。中央大学大学院総合政策研究科博士課程修了。東芝入社。東芝アメリカ社副社長などを経て2003年4月九州大学大学院経済学研究院教授。2007年4月から現職。

専門：国際経営論、アジア産業・企業論、企業戦略論

著書：「電機産業の発展プロセス－競争力を高める企業戦略」(中央経済社2007年)

「グローバル経営の新潮流とアジア－新しいビジネス戦略の創造」(九州大学出版会 2008年) など

* 永池教授は今年4月21日付の長崎新聞コラム「水や空」で紹介されました。